

第4号様式（第3条、第5条、第11条、附則第4項－第6項、附則第8項、附則第9項関係）

授与年月日	
番 号	
根 拠 規 定	

教 育 職 員 免 許 状 授 与 申 請 書

令和〇〇年 〇〇月 〇〇日

山口県教育委員会 様

※電子申請の場合は、授与（第4号様式）申請と検定（第10号様式の3）申請を行い、申請後にそれぞれの様式をダウンロード印刷して下さい。電子申請、書類提出後に、手数料支払いに関わるメールをお送りしますので、別紙を付ける必要はありません。

本 籍 地 山口県
都道府県
申請者 住 所 山口市滝町1-1
フリガナ ヤマグチ ハナコ
氏 名 山 口 花 子

昭和△△年 △月 △△ 日生
(電話 083-933-4550)

教育職員免許法第5条の2
教育職員免許に関する規則
下記の教育職員免許状の授与を受けたいので、
第 1 項
第11条第1項の規定により、関係書類を添えて申請します。
附則第 項

記

免許状の 種 類	幼稚園・小学校・中学校・高等学校 特別支援学校・養護・栄養・その他（ ）	教 科 (事項)、 領 域 又は 自立活動
	教 諭 ・ 助教諭	
	普通(専修・一種 二種) ・ 特別・臨時	

○教科等がある場合のみ記入する。
○特別支援学校については、領域を「知的」「肢体」「病弱」「視覚」「聴覚」のように省略して記入すること。

注 1 「免許状の種類」欄は、該当するものを○で囲むこと。
2 太枠内は、記入しないこと。
3 この申請書の提出前に手数料を納付した場合には、手数料の納付に関する調書（別紙）を添付すること。
備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4とする。

別紙

手数料の納付に関する調書

手数料を納付した者の氏名	山 口 花 子
山口県納付済証貼付け欄	
 納付済証 受付番号 045-021 諸証明 3300 円 管理番号 00000000000000000000 県庁内売店 2026年05月26日 10時00分 納付済証の再発行はできかねます ※手数料収納窓口で納付し、 「納付済証」の原本を添付 すること（コピー不可）	

注 山口県納付済証が交付される窓口において手数料を納付した場合には、当該山口県納付済証を所定の欄に貼り付けること。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格 A 列 4 とする。

第10号様式の3（第4条、第5条、第11条関係）

検定結果	合 格 ・ 不合格
根拠規定	

教 育 職 員 検 定 願

令和〇〇年 〇〇月 〇〇日

山口県教育委員会 様

住 所 山口市滝町1-1
出願者 フリガナ ヤマグチ ハナコ
氏 名 山 口 花 子

昭和△△年 △月 △△日生
(電話 083-933-4550)

下記の教育職員免許状に係る教育職員検定を受けたいので、教育職員免許に関する規則第 5 条第一項の規定により、関係書類を添えて出願します。

記

免許状の 種 類	幼稚園・小学校・中学校・高等学校 特別支援学校・養護・栄養・その他（ ）	教 科 (事項)、 領 域 又は 自立活動	
	教 諭 ・ 助教諭		
	普通(専修・一種・二種)・特別・臨時		

- 注 1 「免許状の種類」欄は、該当するものを○で囲むこと。
2 太枠内は、記入しないこと。
3 この検定願の提出前に手数料を納付した場合には、別記第4号様式の別紙を添付すること。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4とする。

別紙

手数料の納付に関する調書

手数料を納付した者の氏名	山 口 花 子
山口県納付済証貼付け欄	
 納付済証 受付番号 045-022 諸証明 1700 円 管理番号 00000000000000000000 県庁内売店 2026年05月26日 10時00分 納付済証の再発行はできかねます ※手数料収納窓口で納付し、 「納付済証」の原本を添付 すること（コピー不可）	

注 山口県納付済証が交付される窓口において手数料を納付した場合には、当該山口県納付済証を所定の欄に貼り付けること。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格 A 列 4 とする。

第6号様式の2（第3条、第4条、第11条関係）

履 歴 書

ふりがな 氏名	やまぐちはなこ		生年月日	昭和△△年△月△△日		住所	山口市滝町1-1	
	山 口 花 子			本籍地 都道府県			山口県	

学 歴	年月日	学 校 名 等	卒業等	勤 務 記 録	年 月 日	勤務先・職名等
	昭和61年3月20日 平成 元年3月18日 平成 元年4月10日 平成 4年3月1日 平成 4年4月10日 平成 8年3月25日	××市立〇〇小学校 ××市立△△中学校 山口県立◇◇高等学校 " " ▽▽大学教育学部 小学校教員養成課程 " " 入学も記入してください。	卒業 卒業 入学 卒業 入学 卒業		平成 8年4月5日～ 平成 9年3月30日 平成 9年4月1日～ 平成16年3月31日 平成16年4月1日～ 平成30年3月31日 平成30年4月1日～ 令和 8年7月31日 現在	▲▲市立××保育所 保育士 ◆◆町立〇〇保育園 保育士 △△保育園 保育士 ☆☆市立□□認定こども園 保育教諭 ※ 臨時採用、県外の採用も含め、保育士等としての勤務を全て記入する。

教 員 免 許 状	授与年月日	種 類	教 科	番 号	授与権者	身 上 異 動	年 月 日	事 項
	平成8年3月25日 平成8年3月25日 平成8年3月25日	小学校教諭一種免許状 中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	社会 地歴	平七小一第×号 平七中一第▽号 平七高一第●号	山口県教育委員会 山口県教育委員会 山口県教育委員会		平成12年3月31日	「中村」から 「山口」へ改姓

必ず、年月日まで記入してください。

省略せず、正確に記入してください。

※所有する全ての免許状を記入する。

- 注 1 「学歴」欄は、小学校から最終学校まで記入すること。
- 2 「学校名等」欄は、学校の名称（学部、学科、専攻等の区別がある場合にあつては、学校の名称及び学部、学科、専攻等の区別）を記入すること。
- 3 「卒業等」欄は、入学、卒業、修了、中退等の区別を記入すること。
- 4 「教員免許状」欄は、有する教育職員免許状のすべてについて記入すること。
- 5 「勤務先、職名等」欄は、勤務先の名称、職名及び就職、転任、休職、退職等について記入すること。
- 6 「身上異動」欄は、氏名又は本籍地都道府県に異動があった場合にその旨を記入すること。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4とする。

実務に関する証明書及び人物に関する証明書について

1 実務の証明期間

実務の証明期間については、以下が概要になります。

免許状	基礎資格	保育士等としての 実務経験	実務証明の 必要期間
幼稚園教諭 一種免許状	学士の学位を有すること及び 保育士となる資格を有すること	3年かつ 4,320時間以上	8単位
幼稚園教諭 二種免許状	保育士となる資格を有すること		

※ 上記の保育士等としての実務経験に加え、幼保連携型認定こども園での保育教諭等としての2年かつ2,880時間以上の実務経験を有する場合は、6単位。その際は、上記と別に、実務に関する証明書が必要となります。

※ 実務証明の期間は、育児休業や休職等の長期休職期間を除いて上記の表に示した期間が必要です。（365日間を1年として計算）

※ 実務、単位等についての問い合わせは、教職員課免許担当（083-933-4550）にご相談ください。

2 証明の依頼

- (1) 「実務に関する証明書」が必要な勤務先の、現在の所属長に、証明を依頼してください。
- (2) 「実務に関する証明書」を依頼する保育園等が複数の場合は、園ごとに証明していただくようになります。依頼する際には、所属長に、必要とする期間（年度）を示し、記入上の留意事項として以下のことを伝えてください（記入例も示して依頼）。

- ・「期間」の欄は本採用の場合「4月1日～3月31日」と記入し、非常勤講師の場合は任用された期間（辞令等参照）を記入すること。
- ・「その他」の欄は、産休、育休又は病休等の休職等の期間が含まれる場合は、その期間を記入する。該当がない場合は「なし」と記入すること（この欄が空欄の場合は不備となります）。

- (3) 休園や統廃合になった園での実務については、引き継いだ園や市町等所管課で証明してもらってください。
- (4) 「人物に関する証明書」は、現在の勤務先で証明してもらってください。現職の教員及び保育士以外の方は、担当係が面接を行って作成する必要がありますので、事前にご連絡ください。
- (5) 各証明書の実務証明責任者は、勤務校種等によって異なります。
 - ① 大学附置の国立又は公立学校や園の教員・・・学長
 - ② 県立学校の教員・・・県教育委員会
 - ③ 市町立学校や園の教員・・・市町教育委員会 又は所管する地方公共団体の長
 - ④ 私立の学校や園の教員・・・学校法人の理事長
 - ⑤ 保育士・・・施設の設置者

3 その他の注意事項

- (1) 非常勤講師としての実務については、実務期間として含めることができない場合がありますので、教職員課へ御相談ください。
- (2) 実務に関する証明書及び人物に関する証明書は、開封してあるものは無効です。

第9号様式の2（第3条関係）
実務に関する証明書

氏 名	山 口 花 子
生年月日	昭和△△年△月△△日

上記の者の実務成績は、次のとおりです。

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
期 間	4月1日から 3月31日まで	4月1日から 3月31日まで	4月1日から 3月31日まで	4月1日から <u>3月31日</u> まで
実労働時間	1345.25時間	1005時間	1203.75時間	1245.5時間
職 名	保育士	保育士	保育士	保育士
勤務状況	年少組を担当し、 良好な勤務状況で あった。	年中組を担当し、 良好な勤務状況で あった。	年長組の副担任と して、良好な勤務 状況であった。	年中組の副担任と して、良好な勤務状 況であった
その他	な し ※空欄は不可	な し	R6.4.5～7.6病休 ※産休・育休・長期 休職等があれば記入 する。	な し

上記の者は、本施設において、上記のとおり実務経験を有するものであることを証明します。

令和8年4月17日

※証明日は、実務期間最終日の翌日以降

施設名 ○○保育園

証明者 園長 △△ △△

公印

印

上記のとおり良好な成績

令和8年4月18日

※市町立の園は、市町教育委員会、又は所管する地方公共団体の長
※私立の園は、理事長
※保育士としての勤務経験については、勤務した施設の設置者

実務証明責任者

理事長

□□ □□

公印

印

注1 特例の対象として認められる勤務期間等（3年かつ4320時間以上）について、複数の施設における勤務期間等を合算する場合は、それぞれの施設ごとに実務証明書が必要

2 「その他」欄は、休職等勤務しなかった期間等について記入すること。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4とする。

第 6 号様式の 3 （第 3 条、第 4 条、第 11 条関係）

人 物 に 関 す る 証 明 書

氏 名	山 口 花 子
生年月日	昭和△△年△月△△日

上記の者の人物に関する所見は、次のとおりです。

評 定	指導力	責任感	判断力	誠実さ	協調性
	B	A	B	B	A
所 見	※評定について、顕著な部分を記載する。 <記載例> 年中組を担当し、子どもの成長を・・・・・・。 （園児児童への指導について） また、分掌では〇〇を担当し、同僚と協力しながら・・・・・・。 （職務に対する責任感や判断力などについて） 今回の免許状の取得によって、・・・・・・が期待できる。 （免許取得による教育活動の充実への期待などについて）				
上記のとおり副申します。 令和 8 年 4 月 1 7 日 現在の勤務先の所属長 所属長 〇〇保育園 園長 △△ △△ 公印 印					

上記のとおり証明します。

過去の年度だと無効になります。
証明された年度内に申請してください。

令和 8 年 4 月 1 8 日

※市町立の園は、市町教育委員会、又は所管する地方公共団体の長
※私立の園は、理事長
※保育士としての勤務経験については、勤務した施設の設置者

実務証明責任者 理事長 □□ □□

公印 印

在「評定」欄は、優れている場合は A、普通である場合は B、劣っている場合は C と記入すること。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格 A 列 4 とする。

第 7 号様式（第 3 条、第 4 条、第 11 条関係）

健 康 診 断 書

氏 名			生年月日	年 月 日
住 所				
身 長	c m		体 重	k g
視 力	右 左	右 矯正 左	聴 力	右 左
疾 病 異 常	※最寄りの医療機関で、この様式に従って記載を 依頼してください。 第 7 号様式以外では、受理できませんので、 ご注意ください。			
所 見				

上記のとおり診断します。

年 月 日

所 在 地
医療機関名
医 師 氏 名



備考 用紙の大きさは、日本産業規格 A 列 4 とする。

第5号様式（第3条、第4条、第10条、第11条、附則4項－第9項関係）

宣

誓

書

私は、次に掲げる者に該当しないことを宣誓します。

- 1 拘禁刑又は禁錮以上の刑に処せられた者
- 2 教育職員免許状がその効力を失い、当該失効の日から3年を経過しない者
- 3 教育職員免許状取上げの処分を受け、当該処分の日から3年を経過しない者
- 4 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

令和〇年〇〇月〇〇日

日付は、授与申請書及び検定願と同じ日付を記入すること

氏 名

山口 花子

必ず「自署」すること（コピーは不可）

注 宣誓者の氏名は、自署すること。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4とする。